

サステイナビリティ・サイエンスを拓く

—環境イノベーションへ向けて—

原圭史郎、梅田靖 編著

監修 大阪大学環境イノベーションデザインセンター

A5版・並製・250頁 定価2415円(税込) I S B N 978-4-87259-384-6 C 3036

内容

これからサステイナビリティについて学びたい大学の学部生、大学院博士前期課程の院生、一般の方々に向けて、理文各分野の21名の研究者が執筆した、サステイナビリティ学・環境イノベーションに関する専門書。大阪大学 サステイナビリティ・サイエンス研究機構で推進してきた研究を基に、研究システム、技術・制度・地域ケーススタディなどについてテーマを取りあげ、環境イノベーション・サステイナビリティ研究に対しての視座を提供する。また、大阪大学全学の環境・サステイナビリティ研究シーズのマップを掲載・公開し、今後の環境・サステイナビリティ研究(環境イノベーションデザイン)の展望を示す。

序章:「サステイナビリティ・サイエンスを拓く」の刊行にあたって(馬場章夫)

第1部:サステイナビリティ・サイエンスの萌芽

1章:持続可能な社会の姿を科学的に、かつ、自由に描くという可能性(梅田靖)
2章:大阪大学サステイナビリティ・サイエンスの研究アプローチ(梅田靖)

第2部:持続可能社会を導くシナリオ・評価・イノベーション

3章:アジア地域の産業セクター将来シナリオを考える
—中国・長江デルタ地域の事例—(原圭史郎)
4章:サステイナビリティの理解と評価(上須道徳)
5章:イノベーションと社会システム変革(山口容平、高橋康夫)
6章:環境政策と技術革新
—ダイオキシン排出および廃棄物リサイクルにおける日本の経験から—
(Yabar Helmut)

第3部:制度設計とガバナンス

7章:世界排出量取引構想—ポスト・コペンハーゲン合意の日本の戦略
(濱崎博、西條辰義)
8章:産業エコロジーから産業のリスクガバナンスへ(東海明宏)
9章:持続可能な社会づくりのための協働イノベーション(大久保規子)

第4部:持続可能な「地域」へ向けた実践と展望

10章:日本の環境モデル都市の政策的背景と実践(木村道徳)
11章:高齢化社会とアーバングリーンング(小林昭雄、町村尚)
12章:地域文化の継承保存とサステイナビリティ(栗本修滋)

第5部:サステイナビリティ知識の構造化とシーズマップ

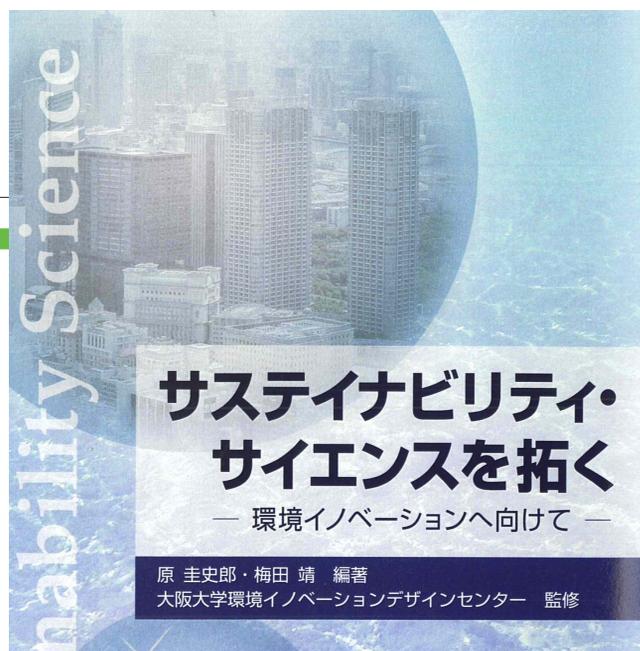
13章:オントロジー工学によるサステイナビリティ知識の構造化
(熊澤輝一、古崎晃司、溝口理一郎)
14章:持続可能社会を導くサステイナビリティ・シーズマップ
(下田吉之、原圭史郎、中村信夫)

終章:持続可能な社会へ向けて—環境イノベーションデザインの展望—
(山中伸介)

ご注文について

- お申し込みはお近くの書店にてお願い致します。
- 小会へ直接ご注文いただく場合は、下記までお申し込みください。

(お申し込み先)
大阪大学出版会
TEL:06-6877-1614
FAX:06-6877-1617
e-mail:info@osaka-up.or.jp



サステイナビリティ・サイエンスはもはや「科学」なのではない。「智慧をそなえた科学」の別称である。持続そのものではなく、何をおいても持続させなければならない価値とは何かという問いから、それは始まる。——— 鷲田清一